



ぜの発見でノーベル賞が期待されて久しい早石修京大名誉教授は芳香族代謝の様々な酵素を土壌から採取した細菌 *Pseudomonas* から次々と発見されて居られるし、これまたノーベル賞の呼び声高い遠藤章農工大名誉教授のコレステロール治療薬スタチンはカビから分離されるなど我が国に限っても 1960 年代から 1970 年代にかけて土壌微生物の果たした役割は抗生物質以外にも枚挙にいとまがありません。ところが最近ではロボット合成装置で膨大な化合物を創出しハイスループットスクリーニングで探すコンビナトリアルケミストリという舌を噛みそうな技術が製薬業界で主流を占めているようで、こうした生物界からの探索はすっかり下火になっていると聞いています。でも生物の一種である我々人間には生物界から探し出したクスリの方が合うのではとか、やみくもにコンビナトリアルケミストリで合成された無限に近い数の化合物からスクリーニングするより生物の二次代謝で作られた有限な種類の化合物からの方が結局は能率が良いのではという声もあります。二次代謝といえば、前回の定例会での山口大学名誉教授畑中顕和先生のお話は植物の多彩な二次代謝のお話でした。先生の業績は実に膨大で様々な代謝経路を解明され、現在は最終産物の香り物質がどのように人間に影響するか（それも良い意味での影響特に脳に対して）まで研究されていてスウェーデンのノーベル財団での招待講演などこれまたノーベル賞に近いかもと思わせる素晴らしいお話でした。ということで今年もバイオの分野で日本からまたノーベル賞が出ることを祈りたいと思います。

さて我々のバイオテクノロジー標準化支援協会の使命である「標準化」についても昨年末の新聞記事（読売新聞 12/9/2015）によれば経済産業省が国産技術の世界標準化を進めるため国立大学などで専門講座の開設を支援するプロジェクトをこの春から始めるとのこと。とりあえず経産省の専門職員を講師として派遣、人材育成に努めるという。奥山先生が繰り返しおっしゃって居られた欧米やさらには最近では中国や韓国にもすっかり遅れをとっている感がある我が国でもようやく腰を上げ始めたようだ。本会もどのように「支援」できるか今年の課題となります。

今年のもうひとつの課題はこれも奥山先生が力を入れて居られた原著速報誌「医学と生物学」（財団法人緒方医学化学研究所が平成 25 年 6 月末日で解散し廃刊となった）の復刊です。

こうした課題に皆さまと共に取り組み成果を出せる一年にしたいと考えて居ります。どうぞよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

## 2) 第 69 回定例会(2015/12/11)の報告

2-1. 参加者 13 名

2-2. 奥山夫人ご同席のもと「“みどりの香り”の研究」という題で山口大学名誉教授畑中 顕和先生にお話して頂きました。

畑中先生は奥山典生先生の中学・高校の同窓生という関係もあり先生が畑中先生にご講演を依頼されたのは随分前のことだったそうで、この度ようやく実現しました。内容は余りに膨大なので前回の添付資料などご覧顶きたいのですが、また近いうちに続きをお願いすることになるかもしれません。乞うご期待。

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

### 3) 第70回定例会のおしらせ。

\*\*\*\*\*

#### バイオテクノロジー標準化支援協会 第70回 定例会

\*\*\*\*\*

日時：2016年1月22日(金) 14時00分 - 16時00分

参加費：無料

\* (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。)

友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所：八雲クラブ（ニュー渋谷コーポラス 10階-1001号）（首都大学東京同窓会）  
（渋谷駅から坂（井の頭通り）を上がり東急ハンズの角を右に回り、直ぐまた右に曲がるとハンズの搬入口でその隣の建物です）

住所：渋谷区宇田川町 12-3 電話番号：03-3770-2214



八雲クラブ案内図：地図はグーグルマップで、赤い丸印の場所です。

## 話題

### \*1 超高純度素材に対する期待

演者：(元) 広島国際学院大学工学部教授 松坂菊生 先生

先生から頂いた講演要旨を添付しました。今回の話題はバイオテクノロジーと一見あまり関係ないように見えますが、物質を非常に光度に純化していくとそれまで知られていなかった全く異なる性質が見えてくるというお話です。逆にこれまでその物質の特性と考えられていたものが混在していた微量の他の物質に由来することが分かってきたりということで、決してバイオと無縁の話ではないかもしれません。広く様々な分野の知識を吸収していこうというのは奥山先生の始められたこの会の伝統でした。ぜひ皆様のご参加をお待ちして居ります。

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

この会では会員でも会員でなくてもご自由に出席、発言して頂くことになっていきます。ぜひ友人同士誘い合わせてご出席ください。

また出席されない方でもメールでご意見をお寄せください。お待ちしております。またぜひ「昨日・今日・明日」にもご投稿ください。内容・字数は自由です。また話題提供も大歓迎です。時間は2時間程度ですが短くても長くても（この場合は2回以上に分けますが）また内容も自由です。ぜひ皆さまのご参加を歓迎します。

＊ ＊

＊ ＊

＊ ＊

4) ホームページに e-library のリストがあります。会員の方はその中から希望のものをご指摘ください。

バイオテクノロジー標準化支援協会からジャーナルをお届けします。

- ① 配信停止・中止希望；返信にしてその旨お知らせください。
- ② 配信先等、登録情報変更希望； 返信にしてその旨お知らせください。
- ③ バイオテクノロジー標準化支援協会に新規会員登録を希望；返信にして、その旨記載してください。または入会希望書に必要事項を記載の上 FAX 送信ください。詳細確認希望の場合はその旨記載下さい。こちらよりご連絡差し上げます。
- ④ ウェブサイトに関するご意見；返信にして、ご意見を記載ください。